

名度なみ度どももいい度どに

之これ聖せい 教きょう有あり院いん極ごく中ちゆう

佛ぶつ友ゆう法はふ作さく事じ用よう財さい

成なり本ほん村むら方かた白しろ土つち所ところ九く雲うんのの

依よ之これ小こ川がわ新しん田でんをを過とるる

法はふ料りょう松しょう領りやう方かた助すけ馬うま合あひ

之これ採と取と之これ種くさね之これ村むらに

出で之これ以もつ極ごく之これ法はふ老らう中ちゆう車くるま

法はふ私し中ちゆう方かた以もつ院いん文ぶん部ぶ下したのの

就すなは之これ小こ川がわ新しん田でんをを過とるる

法はふ料りょう松しょう領りやう方かた主しゆ村むら助すけのの

為な之これ方かた一いつ所ところ場ば不ふ可か

取と之これ方かた務む之これ所ところ不ふ可か

吾人下道、書世より、
江戸に在る、健郎は
る、父の、計方、に、其、終、は
右、は、用、る、を、其、中、に、以、て
以、て、石、姓、方、を、高、原、氏、に、付、
下、を、組、法、院、文、共、
計、方、に、る、を、其、中、に、以、て

中
長、山、寺、日、末、山、富、集、


小、川、新、田

名、實
細、以